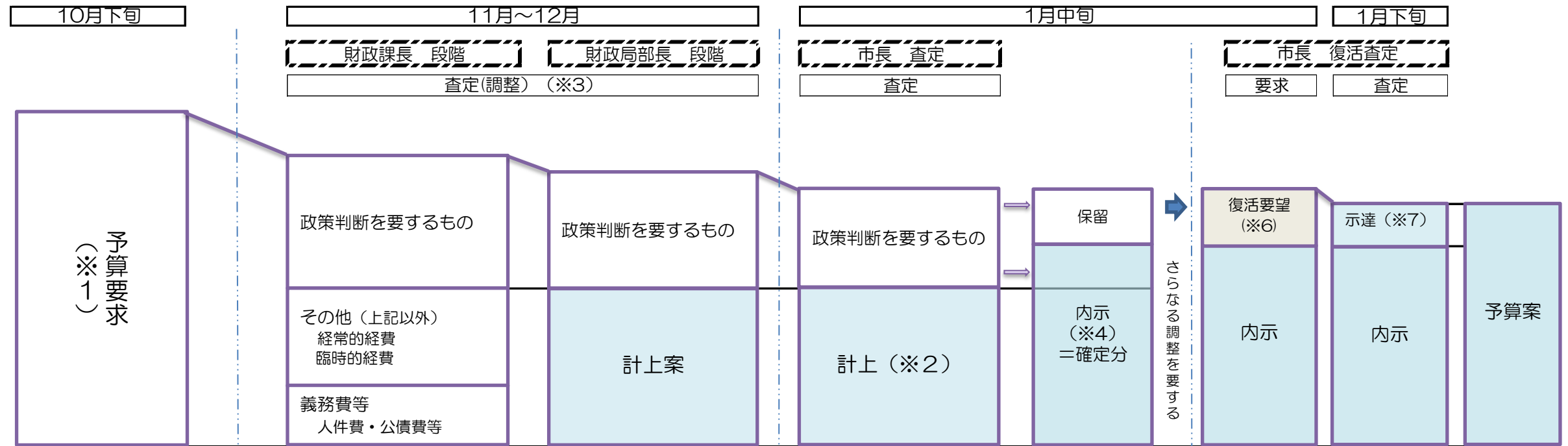


予算編成の流れ（イメージ）



市長が予算案を作成し、年度開始前に議会の議決を経ることとなっています。

しかし
市の事務事業量は膨大で市長が全てを精査することは困難。

審査(査定・調整)
財政局

効率性の観点から段階的な審査(査定・調整)作業を実施し、市長に計上案を報告します。

市長 各局

・調整を要する案件
・計上案を了解した案件

保留
内示

政策判断が必要な事業や市として重要な事業について市長査定を実施。

市長 各局長

復活要望
示達

直接内容を聴取し査定を実施

・内示されたものの再調整を要すると判断した案件
・保留事項(※5)

予算編成の一連の流れにより、事業の厳選が行われ、市議会に提出される予算案が最終的に確定することになります。

用語解説	項目	説明
※1	要求	事業を担当する局長が、財政局長に対して予算に計上すべき金額や内容を示すこと。
※2	計上	要求された予算の必要性等が備わっていることを精査の上、予算に盛り込むこと。
※3	査定(調整)	要求された予算を計上するかどうかが計上する金額を判断すること
※4	内示	査定(調整)の結果を要求部局に通知すること。
※5	保留事項	判断を保留して、市長が査定のために要求部局の意見を聴くこと。
※6	復活要望	保留事項や査定の再調整を要するものに対し、再度予算要求し、市長に判断を求めること。
※7	示達	復活要望の結果について、各所管局に通知すること。